

## 令和5年度 児童アンケート結果

4 : はい    3 : どちらかといえば はい    2 : どちらかといえばいいえ    1 : はっきりといいえ

評価項目・ご意見	4	3	2	1
<b>1【低・中】</b> 自分から、すすんであいさつしていますか。 <b>【高】</b> あいさつすることの大切さを意識して、自分からすすんであいさつしていますか。	60.3%	32.2%	5.9%	1.6%
校内では福祉委員会のあいさつ運動を通して、高学年児童が全校児童に対しあいさつの大切を伝えています。児童は会釈や目を合わせる等も含め、自分のあいさつしやすい方法を見つけています。あいさつをすることで笑顔が増え、気持ちよく過ごせることを児童が感じられるよう今後の教育活動の中でも指導を続けていきます。				
<b>2【低】</b> クラスで安心して過ごすことができているか。 <b>【中】【高】</b> 学校は、自分が安心して過ごすことができる場になっていますか。	64.0%	28.5%	4.8%	2.7%
年度当初に比べ、「2 : どちらかといえばいいえ」と回答した児童が減りました。年間を通して行ってきた人権目標の取り組みや日常生活の中で行っている人権教育推進の成果がみられた一方、1割弱の児童が2、1と回答しています。児童の抱える不安感の原因を的確に把握して児童理解を深め、新校舎移転によって増えた保険相談室などの児童が過ごすことのできる場を活用しながら、すべての児童が安心して過ごすことのできる学校をめざしていきます。				
<b>3【低】【中】【高】</b> 学校では、健康な体を作るために進んで体を動かしますか。	57.9%	31.6%	8.0%	2.5%
新校舎への移転により、運動ができる場所が体育館・テラス・集いの場・上校庭など運動場所を有効に活用することができるようになってきました。中休みには体育館で短縄や長縄跳びができる時間（ムキムキタイム）を設定し、運動時間も増えています。運動に対して消極的な児童も一歩足を踏み出して運動経験ができるような機会を設定し、楽しく体を動かそうとする児童が一人でも増えるように教職員がチームとなって、児童に関わっていきます。				
<b>4【低】【中】【高】</b> 避難訓練や防犯教室で、自分の身の守り方や落ち着いた行動を身につけることが、できていますか。	74.0%	22.8%	2.5%	0.7%
本校では、定期的に避難訓練や防災訓練など、安全にかかわる訓練を計画的に実施しています。いざという時に児童が落ち着いて行動することができるように、事前・事後指導をしています。さまざまなケースを想定して訓練を行っています。新校舎に移転してから避難訓練を実施しましたが、日頃の成果もあり児童は迅速に避難することができました。今後も日頃の訓練を大切にしながらも柔軟に対応できるように指導していきます。				
<b>5【低】</b> めあてを大切に学習をしていますか。 <b>【中】【高】</b> 課題の解決に向け、見通しをもって学習をしていますか。	54.6%	38.1%	5.6%	1.7%
9割を超える児童が「4、3」と回答しています。これは、めあての確認や課題の把握、振り返りなど、思考の流れがつかみやすい授業展開や板書の工夫を継続して行ってきた成果だと考えられます。今後も問題の解決に向け、見通しをもち筋道立てて探求していく力を高められる授業づくりに努めていきます。				
<b>6【低】</b> 友達と話し合っていて考えていくことが楽しいですか。 <b>【中】【高】</b> 考えや思いを友達と伝え合う中で、自分の考えを広げることができていますか。	59.0%	31.5%	7.8%	1.7%
約9割の児童が「4、3」と回答しています。これは、少人数のグループでの話し合いや、タブレット端末を用いた各自の考えの共有などで、互いに考えの違いやよさを感じることができたためだと考えられます。今後も友達と伝え合う中で、自らの考えを広げていく力を高められるよう授業形態の工夫に取り組んでいきます。				

	ある	ない
7 あなたは、今のクラスで いじめられている子を見たことがありますか。	8.5%	91.5%
8 今、学校で自分がいじめで困っていることがありますか。	8.0%	92.0%

設問7では、約9割の児童が「いじめられている子を見たことがない」と答えています。この数値については、いじめられている児童がいても、それを見ていじめだと感じるかどうかや、潜在化しやすいといういじめの特徴など、様々な要因が重なっての結果だと言えます。また、設問8では、約1割の児童がいじめで「困っている」と答えています。「困っている」と答えた児童の中には、いじめを実際に受けて困っている児童、いじめを見て困っている児童などがいると考えられます。

それぞれの児童の気持ちに寄り添い、汐見台小学校いじめ防止基本方針に則って迅速に対応していきます。いじめの未然防止に努めていくため、各クラスで立てている人権目標や様々な取り組みや行事、実行委員会などの活動を通して、児童一人ひとりを大切にする取り組みを計画的に行います。また、教職員相互で気になることを伝え合ったり、児童にいじめは許されないことだという意識を育んだりして、安心して生活できる学校づくりを進めていきます。

また、いじめをいじめと捉えるかどうかについて児童間で差があると考えられます。いじめはされた側がどう捉えるかが基準であることを児童に伝え続け、「遊びだった。」「楽しいと思った。」「ふざけただけ。」「自分なら平気だから。」という理由で相手を傷つけることは許されないことを今後も指導していきます。